

	育成すべき資質能力	[S] Exemplary	[A] Accomplished	[B] Developing	[C] Beginning	備考
		模範的段階	達成段階	発展途上	基礎力	
地理歴史	知識・技能	【地理】世界の生活文化の多様性や防災、グローバルな課題への取組について理解できる。 【歴史】世界と世界の中の日本に存在する諸課題について歴史的な経緯を理解し諸資料から得られた情報を効果的にまとめることができる。	【地理】地球規模の自然システム、社会経済システムの理解ができる。 【歴史】歴史に関わる諸資料を活用して歴史に関わる概念を理解することができる。	【地理】世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄に関する知識や追究の方法について理解できる。 【歴史】我が国の歴史の展開について世界的視野に立って総合的に理解し、知識を身に付けている。	【地理】中学校の地理的分野の地誌学習で獲得した知識を活用して課題を認識することができる。 【歴史】中学校の歴史的分野で学習した歴史の流れと各時代の特色を説明することができる。	●新学習指導要領を踏まえて作成。
	思考力、判断力、表現力等	【地理】地理的事象を多面的多角的に考察し課題解決に向けて構想したことを説明したり議論したりすることができる。 【歴史】歴史に見られる課題について学習したことを基に複数の立場や意見を踏まえ再構成しながら論理的に説明できる。	【地理】空間概念を捉え追究する地理の見方考え方が出来る。環境条件や他地域との結びつきを地域の枠組みの中で人間の営みと関連付けて理解できる。 【歴史】グローバルな観点から歴史に関わる諸課題を考察することが出来る。共通性や相違点を明確にしたり事象同士を関連付けて理解できる。	【地理】地理的事象に係る課題について国際社会の変化を踏まえて公正に判断し収集した資料から有用な情報を選択し追究した結果を適切に表現できる。 【歴史】歴史の展開に係る課題について考察し我が国の文化に関する理解を深め収集した資料から有用な情報を選択し追究した結果を適切に表現できる。	【地理】日本や地域の特色について環境条件や人間の営みに関連付けて考察し課題について追究した結果を図表化したり討論を行ったりすることができる。 【歴史】年表や歴史地図などの歴史に関する資料を活用して歴史に関する課題について公正に判断し発表ができる。	
	学びに向かう力	【地理】世界の多様な生活文化を尊重することの大切さについて自覚できる。 【歴史】社会の有為な形成者に必要な公民としての資質を身に付けている。	【地理】持続可能な社会づくりのため課題解決を模索する態度が身に付いている。 【歴史】国際社会に生きる日本国民としての自覚が身に付いている。	【地理】国際社会に生きる日本人としての責任を果たそうとする意欲態度が身に付いている。 【歴史】我が国の歴史の展開に対する高い関心と課題意識を持ち、意欲的に追究している。	【地理】広い視野に立って我が国の特色について認識しようとしている。 【歴史】我が国の歴史の理解を通して現代社会を考察しようとしている。	
	育成すべき資質能力	[S] Exemplary	[A] Accomplished	[B] Developing	[C] Beginning	備考
公民	知識・技能	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論を理解し諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめることができる。	現代社会の諸課題を捉えて考察するために必要な概念的枠組みを理解できる。	現代の社会的な事象と人間としての在り方生き方に関する基本的な事柄を理解し知識を身に付けている。	現代社会の政治や経済の基本的な考え方、社会的な事象の意義や役割、相互の関連に関わる知識を身に付けている。	●新学習指導要領を踏まえて作成。
	思考力、判断力、表現力等	事実を基に概念等を活用して諸課題を多面的多角的に考察し、解決に向けて合意形成を視野に入れながら構想したことを議論できる。	人間と社会の在り方の概念的枠組みに着目して課題を見出し、国家・社会の形成者として必要な選択判断を主体的に行い、他者と協働しながら課題解決することができる。	社会的な事象の本質や人間の存在及び価値について広い視野から考察し、収集した資料から有用な情報を選択し追究した結果を適切に表現できる。	現代の諸事象に関する資料を収集し適切に情報選択して多面的多角的に考察し、追究した結果を図表化したり討論を行ったりすることができる。	
	学びに向かう力	人間としての在り方生き方について自覚を持ち、自国の繁栄を図るとともに各国民が相互に尊重し合い協力することの大切さについて自覚する。	社会に参画する意欲や態度が身に付いている。	現代社会と人間に関わる事柄に高い関心があり、意欲的に課題追究する態度が身に付いている。	よりよい社会を考え公民としての自覚をもって責任を果たそうとする態度が身に付いている。	
	育成すべき資質能力	[S] Exemplary	[A] Accomplished	[B] Developing	[C] Beginning	備考
理科	知識・技能	物・化・生から選択した科目について、1・2年次に学習した内容をさらに発展させた知識・技能を身に付け、応用的な学習力を習得する。	物質と原子・物質量・化学反応・酸塩基・酸化還元・運動・波・電気・原子についての基本的知識及び実験・観察の基礎技術を身に付けることができる。	細胞の構造・代謝活動・遺伝情報の構成・生命維持の仕組み・生態系についての基本的知識及び顕微鏡操作を始めとする生物実験・観察の基礎技術を身に付けることができる。	中学の基礎知識（物理学や電気の単位や基本的な法則・化学式や化学反応式・生物の基本構造・地球の構造や天体の動き など）と実験や観察の基本的技能を身に付けている。	●新学習指導要領を踏まえて作成。
	思考力、判断力、表現力等	上記で得た知識・技能から、発展的な考察とまとめができるようになる。実験・観察の結果をまとめ、報告することができる。	上記で得た基礎知識を基に、身近な自然環境との関連について、基本的な考察ができる。実験・観察の結果から推測できる事象を考察できる。	上記で得た基礎知識を基に、身近な自然環境との関連について、基本的な考察ができる。実験・観察の結果から推測できる事象を考察できる。	中学の基礎知識を、身近で起こっている自然現象と関連付けることができる。	
	学びに向かう力	上記で学んだ内容をもとに、身の回りの自然現象と関連させながら考察し、さらなる疑問提示と、それを解決しようとする態度が身に付いている。	上記で得た知識や技能を、日常生活で起こる事象と結び付け、考えようとする態度が身に付いている。	上記で得た知識や技能を、日常生活で起こる事象と結び付け、考えようとする態度が身に付いている。	高校理科の学習内容を、中学の知識を基に取り組みようとしている。	
	育成すべき資質能力	[S] Exemplary	[A] Accomplished	[B] Developing	[C] Beginning	備考
家庭	知識・技能	人の一生と家族・家庭及び、福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。	人の一生と家族・家庭及び、福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。	家族・家庭の機能について理解を深め、衣食住、消費や環境など生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技術を身に付ける。	家族・家庭の機能について理解を深め、衣食住、消費や環境など生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技術を身に付ける。	●教育課程上、2年次のみの履修となるため、【S】と【A】及び【B】と【C】が同じ内容となる。
	思考力、判断力、表現力	家庭や地域及び社会における生活の中から課題を設定し、解決策を構想し、実践して考察したことを論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	家庭や地域及び社会における生活の中から課題を設定し、解決策を構想し、実践して考察したことを論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	家族・家庭や地域における生活の中から課題を設定し、解決策を構想し、実践して考察したことを論理的に表現するなど、課題を解決する力を養う。	家族・家庭や地域における生活の中から課題を設定し、解決策を構想し、実践して考察したことを論理的に表現するなど、課題を解決する力を養う。	
	学びに向かう力	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする態度を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする態度を養う。	自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする態度を養う。	自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする態度を養う。	
	育成すべき資質能力	[S] Exemplary	[A] Accomplished	[B] Developing	[C] Beginning	備考
保健体育	知識・技能	【体育】運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、自らの学び・経験を地域へ発信し、地域活性の原動力になることができる。 【保健】	【体育】運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、自らの学び・経験を地域へ発信することができる。 【保健】	【体育】運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動有能感をえることができる。 【保健】	運動の基礎技能を体得して、自身の運動能力を踏まえた活動を通して楽しむことができる。	●新学習指導要領を踏まえて作成。
	思考・判断	【体育】運動の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、知識・技能を他者に伝えることができる。 【保健】	【体育】運動の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断することができる。 【保健】	【体育】運動を通して、合理的・計画的な解決に向けて取り組むことができる。 【保健】	運動の課題を理解して、自主的に解決に取り組むことができる。	
	運動の文化と学び方	【体育】運動を楽しむ文化を理解して、体力を向上させることで、運動やスポーツを生涯にわたって継続することができる。 【保健】健康について学ぶことで、生活習慣を改善するよう健康知識を取り入れた生活ができる。	【体育】様々な運動の歴史を理解して、体力を向上させることで、運動する意欲を高めることができる。 【保健】健康について学ぶことで、生活習慣を改善するよう健康知識を取り入れた生活ができる。	【体育】運動の伝統や文化を理解して、体力を向上させることができる。 【保健】健康について学ぶことで、生活習慣を見直し、健康知識を取り入れる姿勢を身に付ける。	【体育】運動の文化を理解しながら技術向上に主体的に取り組むことができる。 【保健】健康について学ぶことで、生活習慣の改善に努めることができる。	
		* 各ステージが修了する段階で身に付ける段階、それ以前に体得する者もいれば遅れをとる者もいる。 * 【S】3学年修了時、【A】2学年修了時、【B】1学年修了時、【C】入学時（中学校卒業時点で身に付けることを期待する）				